THE ABR800

ALIENBEES RINGFLASH

取扱説明書

株式会社ティ・ピー・シー

本社／〒 530 － 0001 大阪市北区梅田 1-11-4 大阪駅前第 4 ビル B1-30 Tel.06-6341-6052

http://www.kktpc.co.jp

安全にご使用いただくために

安全を守るために下記の警告等に気をつけてください

警告！このユニットは技術責任者以外の分解はできません。
そのためユニットを調整したり分解する等のいかなる試みもなさらぬようにしてください。交換可能な物はフラッシュチューブ とモデリングランプだけです。このときも電源を切る等の注意を払ってください（交換時はこのマニュアル内の交換方法を参照）。
アクセサリの脱着時やモデリングランプ 及びフラッシュチューブの交換時には、必ずユニットの電源をオフの状態にしてください。
このユニットは危険を回避するために、使用の際はアース付の AC ケーブルのご使用を推奨致します。アース無し電源や、 2 線式による延長コードまたはアダプタとの接続はご遠慮ください。
またお子様や他のスタジオ内のフラッシュ機材をこのユニットの側に近づけないでください。なぜなら焼けこげや電気ショック等の潜在的な危険性があるからです。
安全に注意してご使用ください。

電源に関して

このユニットは 100V 専用です。ユニットには 4.5m の AC コードが付属しています。この AC コードは取り付け部がじゃまにならないよう、下向きにコントロールパネルの上にあるリングフラッシュに接続されます。
ユニットには通常 3 A の電流が流れますが、チャージのはじめには短い間 16A の電流が流れます。もしパワーの出力が低いままで、更にモデリングランプがオフの状態であるならば、ユニットには平均以下の電流しか流れません。

何故リングフラッシュを使うの？

リングフラッシュのコンセプトは、いたってシンプルです。レンズの周りに円形のフラッシュチューブを配置する事により、被写体は全ての角度から光に包み込まれます。リングフラッシュはプロフェッショナルカメラマンにとって非常に貴重で好まれるツールです。それは影の無い照明を簡単に作り出すことが可能であるからです。ファッション業界においては、リングフラッシュはそのほとんど影の無いユニークで美しい照明を提供し、モデルさんたちの目にユニークなキャッチライトが映り込むため非常に人気があります。
建築業界においても、リングライトによる撮影でのシャドーフリー（影の無い状態）は効果を発揮します。もし芸術的な影を要求されるならば、一般のフラッシュユニットまたはリングフラッシュユニット等の追加により、それは可能となります。
また、形成外科医、審美歯科医等の産業に関わるカメラマン及び科学捜査等に関わるカメラマンに、スタジオリングフラッシュは最善の結果をもたらします。このようなリストと例はたくさん有ります。リングフラッシュは 21 世紀最大の発明です。

一般製品説明

ABR800 はリングフラッシュシステムを使用し、新世代のクリエーティブなプロカメラマンたちの挑戦とニーズに適応できるように設計された製品です。
ABR800 は、モデル撮影を含むファッション業界においての写真撮影、また製品写真の制作、建築業界関連の写真撮影等を始め多くの産業界において、撮影に必要とされる全ての特長を備えています。そのためリングフラッシュがどのような物であるかという先入観を越えた、スムースで、より良い撮影作業を可能にします。ABR800 の重量はたったの 1.13kg で、多くのプロカメラマンやセミプロの方々に使い易さを提供しています。
デザイン的には直径 10cm のレンズを装着したカメラにおいても、セット可能であり、またほとんどのサイズのカメラが、使用可能となるよう設計されています。

ABR800 は電源部内蔵タイプなので、一般的な 100V のコンセントに接続するだけで、8 個のモデリングランプと内部空冷ファン等のシステムの稼働が可能です。外部電源部は必要有りません。ABR800 は 320Ws の最大出力時には f11 から f22 の絞りが使用可能になります。また被写界深度を浅くして絞りを開けて撮影するとき等は、5 絞り分出力をダウンする事が可能です。
ABR8000 のコンセプトは、他社から発売されているような非常に高価でまた非常に重いリングフラッシュシステムからのドラマチックな離脱なのです。ABR800 は新しいソフトボックススタイルによるライティングシステムの誕生のコアとなる為に設計された製品です。これは他社の製品には見られない事です。またそのユニークなデザインやアクセサリにより、取り扱いが簡単でしかも多目的な使用が可能です。
アクセサリにはリングライトのソフトボックスであるムーンユニットや、そのマスクセット、ドーナッツ型をしたウォームデフュージョンフィルターセット、更にリングフラッシュ 20° グリッド等が有ります。

NOTE：
ABR800 は非常に繊細かつデリケートに製作された電子機器であり、重いスタンド等と一緒に使用するようには設計されておりません。
使用中は高い能力を発揮しますが、それは ABR800 ユニット自身の繊細さと軽量さによって得られるものであり、またこれによって手持ちの撮影が容易にできるようになっています。ABR800 を手持ち撮影するときは、このユニットの中で機密内部のコンポーネントに注意してください。また、移動するときはこのユニットがしっかり保護されていることを確認してください。

リングフラッシュのシンクロ

付属のシンクロケーブルで、リングフラッシュとカメラを接続します。このシンクロケーブルはミニフォンジャックで、リングフラッシュのバックパネル上のシンクロソケットに接続します。
お持ちのカメラにシンクロ接点がないが場合は、ホットシューアダプタ等をご利用ください。
リングフラッシュとカメラが接続されたなら後はシャッターを押せば発光します。
また、ABR800 は内蔵のスレーブを使う事により、他のストロボの発光を受けて発光させることも可能となります。この内蔵スレーブは仮に、15m 先のフラッシュ光であっても確実に察知し発光します。
このユニットは接続されたユニットと同時に、そしてセッティンされていた通りに発光します。このスレーブはシンクロコードやダミーのプラグが挿入されれば OFF になります。
また、本体のリモートコントロールジャックを使用して、別売りのリモートコントローラにつなぐ事で、発光やフラッシュパワーやモデリングのコントロールが可能です（日本未発売）。

カメラとリングフラッシュの接続

他のスタジオフラッシュと同様に、ABR800 を使用する際には、カメラをプレフラッシュがオフにされている手動の露出モードにセットしてください。
露出はフラッシュメーターを使用して決定して下さい（プロカメラではヒストグラム）。
そして、カメラを〝フラッシュシンクロスピード〟（通常 1/125 秒）に設定してください。
リングフラッシュを使用しているとき、カメラの内蔵メーターは光を検出することができないので、カメラをオートマチックモードにしてはいけません。オートマチックモードにすると不適切なシャッタースピードと絞りのために、写真が露出過度になります。さらにオートマチックモード時には、多くのカメラが内蔵する TTL メーターの発光を測るための赤外線信号やプレフラッシュが発光し、この赤外線信号やプレフラッシュがユニットに内蔵されているスレーブを通して、シャッターが開くより先にユニットを発光させる事があります。このときには当然誤った露出を伴うことになります。
リングフラッシュの光を使うときは露出を正確にするために、ベストの方法として高品質な露出計を使うことをお薦めいたします。
メーターとリングフラッシュをシンクロコードでつなぎ、カメラ位置または被写体の位置からの測定します。被写体によっては、スポットメーターでの測定が必要な場合も有ります。

リングレフレクタ

ABR800 にはワイドアングルレフレクタが標準装備されております。
このリフレクタの直径は約 25cm で、光を 80˚に広げさせます。
このリフレクタは高温高圧の元で成形され、内側にはクロム処理が施されています。またこのリフレクタはこれまでのリングライトの中で最も大きい照射角度を提供しています。これは建築写真やインテリア関連の撮影する場合、大変便利なものとなります。更に別売のアクセサリの 20˚ハニカムグリッドを使用することにより、ポートレイトのライティング等に有効です。グリッドと共にデフューザを使用すれば、フレアがレンズに入ることを防ぎます。内蔵された空冷ファンは温度上昇を防ぎ、アクセサリを併用してもモデリングランプの使用を可能にします。

8 個のモデリングランプの取付

8 個の 10W24V のモデリングランプはフラッシュチューブの軸上に位置しています。専用の電圧規制回路は、150W 灯に相当する効果的出力を提供します。
モデリングランプの光は、フラッシュチューブが発光する光とマッチします。高効率で長寿命のこのランプは 500 ー 3000 時間の寿命を持っており、交換も簡単です。
ランプ交換の方法は 14 ページをご参照ください。

2 個の半円型フラッシュチューブ

ABR800 は直径が 10mm で、半円の直径が約 15cm であるフラッシュを 2 個使用して完全な円形のフラッシュ光の発生を可能にします。このチューブは 250,000 - 1,000,000 回の発光が可能です。消耗または破損しても簡単に交換できます。
交換の際は 2 個同時に交換する事をお薦め致します。

4.5m パワーコード

ABR800 の使用には AC 電源が必要ですが、ユニットには耐久性に優れた 4.5m の電源コードが付属されています。これは標準的な 100V, 50-60Hz の外部電源に接続するためのアース付プラグを備えています。AC コードは、ユニットのバックパネル上のコネクタに差し込みます。また、この AC コードは操作のじゃまにならないよう、90˚のダウンアングルコネクタを備えています。

30cm シンクロコード

ユニットには 30cm シンクロコードが付属しています。これを使用してリングフラッシュとカメラを接続します。このシンクロコードのミニプラグをリングフラッシュのバックパネルに接続します。他の一方はカメラに接続が可能です。
お手持ちのカメラがシンクロ接点を持っていない場合は、シンクロ接点アダプタやホットシューアダプタ等をご使用ください。これらの製品はカメラ専門店や量販店でお求めください。

フロントカバー（デフューザ／フィルタホルダ）

ユニットはストロボの周りに取付けられたフロントカバーと、本体に配置されたランプと共に梱包されております。移動中は、このフロント（つや消し）カバーがストロボとモデルランプを保護する安全部分として機能します。また使用時には、このカバーは発光する光を柔らかくするデフューザとして機能します。このカバー（デフューザ）には、別売りのフィルタを装備する機能が有ります。

ユニバーサル・カメラマウンティング・ブラケット

ABR800 にはユニバーサル・カメラマウンティング・ブラケットが付いています。ユニバーサル・カメラマウンティング・ブラケットは、マウンティングブラケットとアジャスタブル・カメラプラットホームの二つの部分からできています。
アジャスタブル・カメラプラットホームをカメラの三脚取付け穴に付属のネジで固定します。これをマウンティングブラケットに付けて移動させて、リングフラッシュセンターホールの、カメラの光軸に合う位置を見つけることができます。
マウンティングブラケットの上下の調整がリングフラッシュマウントポストに沿って可能です。また、カメラのレンズを中心に位置させることと同様に、前後の調整はマウンティングブラケット上のアジャスタブルプラットホームを移動することによってに可能となります。この場合レンズセンターからカメラ本体の距離は 2.5-12cm が想定されます。

アジャスタブルカメラプラットホーム

カメラプラットホームにはカメラを載置するグリップパッド面をがあります。
ここにはカメラを安全に設置するための 4 個の横スロットがあります。付属のプラットホームネジを使ってカメラを取付けます。このスロットにはカメラのベストな取付け位置を選択する為の柔軟性があります。そして前後調整は、カメラ本体サイズ、レンズサイズ、三脚穴ポジションの位置を考慮したうえで、それぞれのスロットを調整することにより可能となります。カメラを取付ければ、レンズを良い位置に置くために、プラットホームを前後にスライドさせることができます。

三脚への取付け

マウンティングブラケットは底に小ネジの三脚取付け穴を持っていますので、カメラとリングフラッシュを三脚に取付けが可能です。三脚を使用するときには、スタンドマウントは邪魔にならぬように、左図のように回転させておきます。

ライトスタンドの取付け

マウンティングブラケットの回転式スタンドマウントを利用して、カメラとリングフラッシュをライトスタンドに取付できます。16mm メスダボです。

手持ち撮影

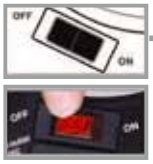
ABR800 はリングフラッシュで手持ち撮影を行なうというアイディアを実現しました。マウンティングブラケットを利用してカメラを取付けることができ、また平らなブラケットベースは手のひらになじむように収まります。

アンブレラアダプタ

ABR800 にはアンブレラアダプタが付属しています。アンブレラアダプタは、デフューザを取付ける時と同じように取付けます。アダプタの中心にアンブレラポールを差込み、ノブを締め付けることで固定されます。
デフィューザはユニットの中心部に取付ける為に、アンブレラと共に使用することは出来ません。

電源コードソケット

付属の AC コードのプラグを、本体裏面の AC ソケット接続することにより適切な電源を得ることが出来ます。



電源 ON/OFF

ON/OFF スイッチにより、リングフラッシュユニットをオン、オフにできます。
本体には 6 A のブレーカを内蔵しています。

フラッシュ／モデリング出力のコントロール

フラッシュとモデリングランプ出力は、 5 絞りの範囲で連続的に調節が可能です。出力はフルパワーから 1/32 まで無段階的に調整できます。
これは本体操作パネルのスライドフェーダーで調整でき、中間のどの位置においてもセットが可能です。
このスライドフェダーは大変便利で、より迅速にユニットの出力を調整ができます。
これは光量を、物理的に光源を前後させることなく得られるということです。

シンクロソケット

付属の 30cm シンクロコードはミニフォンジャックプラグで、反対側は一般的なコンパータイプのシンクロソケットです。ミニプラグを ARB800 に接続し、コードの反対側はカメラのシンクロソケットまたはホットシューアダプタに接続してください。

フォトセル

フォトセルは、カメラ内蔵のフラッシュや、カメラが接続している他のフラッシュ装置からの閃光を感知し確実に発光させます。このフォトセルはシンクロコードやダミープラグが挿入されると解除されます。

チャージ完了／テスト発光

ユニットが発光した後、コンデンサはチャージを開始します。赤色の **DUMP LED** はチャージの時点灯し、その後緑色の **OK LED** が点灯し、ユニットが発光準備が整ったことを示します。また **DUMP LED** は、ユニットのセッティングが高出力から低出力に調整されると点灯します。このユニットは自動的に設定された出力まで下るので、テスト発光の必要は有りません。また赤いテストボタンを押してテスト発光させて、前の設定をキャンセルできます。
緑の **OK LED** が点灯しているときは、設定された正しいエネルギー量を保持して、発光の準備ができている状態です。

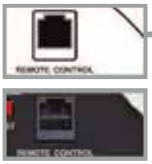
モデリングランプコントロール

モデリングランプの出力はフラッシュパワーに比例するように設定することも、100% に設定することもオフにすることも可能です。更にこのランプはチャージが完全に行われた時や、様々な設定が可能です。

モデリングランプ ON（白色）
このボタンを押すことでで８個のモデリングランプにスイッチが入ります。

モデリングランプ TRACK（ダークグレー）
このボタンを押す事により、モデリングランプはフラッシュパワーに比例するように設定されます。もう一度押すと、モデリングランプはフラッシュパワーに関係なく 100% で点灯します。

モデリングランプ CYCLE（ライトグレー）
このボタンを押した場合、ユニットが発光後にチャージしている間、モデリングランプは消えます。その後チャージ完了すると、再度点灯します。このチャージ表示機能はランプがついているときは何時でも、100% にセットされていても TRACK モードにセットされていても使用できます。



リモートコントロールソケット

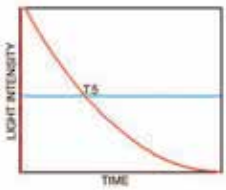
リモートコントロールソケットは、有線または無線によるフラッシュパワーの遠隔操作に対応しています。リモートコントロールのコードをジャックに接続すると、ユニットのフラッシュパワーとモデリングが外部からしかコントロールできなくなります。
コードが接続されるとコントロールパネルは反応しなくなりますが、フォトセルは無効にはなりません。
リモートコントロールユニットは、日本未発売です。

リングフラッシュ・テクニカルデータ

最大出力	320Ws、14000 ルーメン /s
出力範囲	5 絞り（1/1-1/32）
チャージ時間	１秒（フルパワーに充電／小さい出力設定時は更に速い）
閃光時間（t.5）	1/2000 秒（フルパワー設定時）、1/1200 秒（最小パワー設定時）
トリガー電圧	5.6V（デジタルカメラを守るための低電圧）
電源部	120V-AC、50-60Hz、6A ブレーカ内蔵
モデリングランプ	10W 24V の電球８個が 1 セット。500-3000 時間の耐用時間 150W のランプに相当（約 2200 ルーメン）。
フラッシュチューブ	直径 15cm 半円型チューブ２本（フラッシュ寿命は 25 万回から 100 万回）
色温度	中間出力において 5500° K（出力により± 200 度の差有り）
マウント	手持ち操作、三脚取付けとライトスタンド取付が可能
重量	約 1.13kg
本体サイズ	直径約 20cm ×深さ 11cm（フロントカバー付）
カメラ及びレンズとの互換性	最大直径 10cm までのレンズを搭載したほとんどのカメラに適応
使用絞り	f16（3m、ISO100 で標準リフレクタ使用時）。 f11（3m、ISO100 で MU30 ムーンユニット 75cm を使用時）

リングフラッシュに関する注意とインフォメーション

本当の Ws と有効な Ws とルーメン /s およびガイドナンバー（GN）について：
電気エネルギーの量は、ワットセカンド (Ws) で示されます、またジュール（J）でも示されます。同じ Ws 数のもとで発光した実際の光量 (Lumenseconds--Ls) はユニットやシステムの性能によって異なることがあります。とりわけ以前使われた「Box and Cable」システムにおいて性能が劣るため、これを使用した際は、1Ws あたりの光量がかなり少ないという事が見うけられました。言いかえれば、最新の効率的な 160Ws のユニットにおいては、以前の 400Ws のユニットと同じくらいの光量をもたらすことがあるということです。このような理由から、非常に高性能なユニットを作り出すいくつかのメーカーたちによって「有効な Ws」という用語が採用されることとなりました。
良心的なメーカーから提供されるユニットとシステムは、本当の Ws にもとづいて製作されています。まず問われなければならない用語は「ルーメンセカンド (Lumensecond)」です。なぜならこの用語だけが光の出力を記述する唯一の用語なのです。この表記がない場合に写真家にとって最も有効な比較方法は、すでに存在する信頼性のあるアクセサリを用いることによって測定された出力同士を比べるということです。
ガイドナンバーは比較の際の有効な根拠となるという一般的な誤解に関して記述します。ガイドナンバーは、利用可能で実際に使用可能な光量より、反射鏡の角度に影響を受けるため、ユーザには本質的な意味をもたらしません。たとえば、狭い 50° のリフレクタを付けて得られる絞りは、それより広い 80° のリフレクタを付けて得られる絞りより非常に高い GN になります。それでも、放たれた光量はどちらのケースでも同じなのです。



閃光時間（閃光時間を測定した業界標準は「t.5」を多く使用します）：
これは時間の長さを示す用語で、閃光の波形の 50% の時の時間として定義されています。多くのユーザーは、閃光時間をカメラに設定するシャッタスピードと混同しがちですが、それらは同じものではありません。光出力は左のグラフで示すようにフラッシュを光り始めた後にだんだん小さくなります。光出力は t.5 ポイントで突然のゼロになることはなく、時間の経過とともに減少し続けます。グラフから推測できるように閃光時間というものは、カメラのシャッタスピードのように 1/1000 秒で、そのアクションを停止する物ではありません。

シンクロトリガー電圧：
デジタルカメラを使用する際に、カメラに見込まれる最大シンクロ電圧をチェックすることは良いことです。ARB 800 のシンクロ電圧はデジタルカメラ使用に安全な 6V です。

出力測定値：
ARB 800 は、付属のリングリフレクタ（80°）を使用した場合、3 m（ISO 100）で絞りは f16 です。様々な環境 (様々なサイズと条件) のもとにおいて、様々なフラッシュメーターを使用すると、絞りは最大 1 絞り違うことがあります。

出力範囲：
フラッシュ出力とモデリングランプの出力は、5 絞り範囲以上の連続的な調節が可能です。出力はフラッシュユニットのバックコントロールパネル上にあるスライドフェーダによって、フルの状態から 1/32 まで無段階で、調節が可能です。スライドフェーダは絞りの増加と分数を表示しています。

色温度：
ほとんどのプロのスタジオフラッシュユニットは「色温度」を 5000° K から 6000° K の間で作り出します。しかし「正しい色温度」を選択するだけでは完全なカラー解釈や中間色の保証は得られません。なぜなら、これだけではまだ少し余分に加色されていたり、本物の色から少しずれることがあるからです。キセノンフラッシュチューブは優れたカラースペクトルを持ったものとしての評価を得ていますが、もしこれにより完全なカラーバランスと正確なニュートラルが得られているのであれば、Photoshop または「RAW」による後処理が必要とされるキセノンフラッシュのスペクトルには小さな矛盾が残ることになります。これはまた「修正された色」や「コーティングされた UV」はストロボの真実でもあるのです。アクセサリは通常、光源自身の光温度より多くの関心をもたれるものです。アンブレラやソフトボックスのようなものは、たとえそれらから見たところではニュートラルに見えたとしても、しばしば光のカラーバランスを最大 600° K 変えてしまいます。
一般的なスタジオフラッシュユニットは、1/1 から 1/32 まで調整されるのにともない、色温度においておよそ 400° K の変化をもたらします。フラッシュが違ったアクセサリを使用した場合等は「カスタムホワイトバランス」を実行しない限り、完全なカラーバランスをカメラにもたらすことは非常にまれです。また被写体の中にグレーカードやピュアーホワイトカード等を用いてテスト撮影が行われる RAW カメラモードにおいては、完全なカラーバランスを獲得することが可能となります。JPG または圧縮されていないモードを撮影する際にはフォトショップの使用により同様の手順を達成出来ます。

正面

上面

下面 1

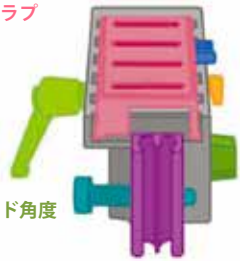
下面 2

ユニバーサル・カメラマウンティング・ブラケットは、カメラとオプション機材の接続ポイントとなります。このオールインワン・ブラケットにはカメラを取付けるカメラプラットフォームがあります。カメラは付属のネジでプラットフォームに簡単に取付けられます。このブラケットをリングフラッシュに取付けるのも非常に簡単です。また、三脚との脱着やライトスタンドへの取り付けも可能になります。

アジャスタブルカメラプラットホーム

回転式ライトスタンド角度調整ハンドル

マウンティングブラケット垂直調整ノブ



正面

カメラプラットホームストッパ

カメラプラットホーム締め付けネジ
前後にスライドさせてレンズ位置を決めることができます。

回転式ライトスタンド締め付けネジ
16mm メスネジ

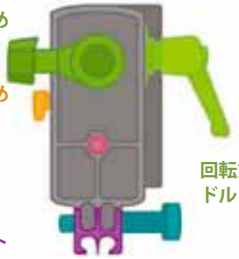
マウンティングブラケット

回転式ライトスタンド締め付けネジ

カメラプラットホーム締め付けネジ

三脚取付け穴

マウンティングブラケット



下面

回転式ライトスタンド角度調整ハンドル

マウンティングブラケット垂直調整ノブ

マウンティングブラケットへの取付け

ABR800 にはマウンティングポストが、コントロールパネルの下の後部側でユニットのベースに取付けられています。マウンティングブラケットをリングフラッシュに取付けるには、ブラケットをマウンティングポストの上に滑らせ垂直調整ノブでその位置を固定することで簡単に出来ます。

カメラプラットフォームを取付けたマウンティングブラケットの２本の垂直の溝を、リングフラッシュユニット上のマウンティングポストの下から差込みます。マウンティングブラケットをマウンティングポスト上で上下させ、位置を決めたら垂直調整ノブで止めてください。この場合、調整ノブは真下の位置「アンロック」で行ってください。

マウンティングブラケットはマウンティングポストに沿ってどこの位置にでも止めることができ、レンズセンターからカメラベースへの距離を約 2.5cm-12cm の範囲で調整可能です。

このノブはあまり強く回さないで下さい、このノブは大変小さな力でも 90˚回転させるだけで、ブラケットをマウンティングポストに安全に固定出来るように設計されています。

カメラのアジャスタブルカメラプラットフォームへの取付け

アジャスタブルカメラプラットフォームのカメラ取付面は、グリップパッドになっています。
４つある水平スロットは、カメラ本体の幅やレンズを取付けたカメラの前後のバランス等を、考慮して取付けることができます。この４つのスロットのどこでも、取付けネジでカメラの三脚取付け穴に止められます。
またこのプラットホームをカメラに付けたままにしておくと、カメラの安定した置き場所としても使用できます。カメラを取付けたプラットホームは、マウンティングブラケット上で前後にスライドして、レンズをリングフラッシュの好きな位置に止めることができます。

カメラをアジャスタブルプラットフォームに取付けるには、最初にプラットフォームをブラケットから取外します。プラットフォーム調整ノブをアンロックの状態にし、プラットフォームをブラケット上で後方に滑らせて下さい（プラットフォーム調整ノブはライトスタンドマウントの銀色のボルトヘッドの左上にあります）。ストッパを持ち上げてプラットフォームを完全に外して下さい。

カメラを付属のネジでアジャスタブルプラットフォームに取付けてください。このネジはリングフラッシュユニットの箱の中のラベルが付けられたバッグのなかにあります。取付けネジは４つの水平スロットのうち、１つを通してプラットフォームの中に収まり、カメラの三脚取付け穴にドライバを使用して締め付けます。カメラ本体の幅と使っているレンズのタイプを考慮して、ベストなポジションを４つのスロットから選んでください。

水平スロットを選んだら、カメラを設置したいところのポジションをスロットに沿って水平にスライドさせて左右の位置決めをしてください。レンズのセンターと三脚付け穴の位置が同じとは限らないためです。
アジャスタブルプラットフォームの底には、それぞれのスロットの間に刻みのあるノッチがあります。このノッチはプラットフォームをブラケットに取付けた場合のセンターラインを示します。もし三脚取付け穴がカメラレンズの真下に位置しているなら、ネジを取付ける位置をノッチと合わせるだけで簡単にセンターを選ぶことが出来ます。また、三脚取付け穴が中心を外れていた場合、レンズのセンターがノッチと合うようにプラットフォームを左右に動かして下さい。位置が決まったらネジをマイナスのドライバで、三脚取付け穴にしっかりと締めつけます。

その後、アジャスタブルプラットフォームをマウンティングブラケットに取付けてください。プラットフォームをブラケット上に取付けるためには、ブラケットのプラットフォーム締め付けノブを真下して「アンロック」の位置にしておく必要があります。リングフラッシュユニットの後側から、プラットフォームを左側のリリースノブを「アンロック」の位置にして、プラットフォームを前後に移動させながらリングフラッシュセンターの位置決めをします。決定したらノブを回転させてロックします。

マウンティングブラケットは、ライトスタンドにも三脚にも取付け可能です。三脚に取付ける場合は、ブラケットの底に位置する三脚取付け穴を使用します。ネジ穴は標準的な三脚ネジおよびクイックリリースプレートに適応しています。この場合、左図のようにスタンド角度調整ハンドルを使って回転式ライトスタンドマウントを邪魔にならないところに移動することが出来ます。
また、回転式スタンドマウントを使用すれば、ライトスタンドに取付が可能となります。この回転式スタンドマウントは約 16mm のスタッド（オスダボ）をもつライトスタンドに適応しています。ライトスタンド上のスタッドにスタンドマウントにかぶせ、ライトスタンド締め付けノブを締めるだけです。その後、スタンド角度調整ハンドルをゆるめて、回転したり傾けたりすることが出来ます。角度が決まればハンドルを再度締めつけると、ポジションはロックします。このハンドルで角度を調整するときは、空いているもう一方の手でリングフラッシュとブラケットを必ずしっかり支えて下さい。

フロントカバー／ディフューザの取付け

ユニットを持って旅行する場合は、必ずストロボとモデリングランプを保護するためのカバーをご利用下さい。
ユニットはこのような理由からカバー付で出荷されます。しかし使用時にはABR800 はディフューザを使うときもありますし、使わないときもあります。

フロントカバーやディフューザを取付けるには、まずユニットのバックパネル上のリフレクタロックが左側の「アンロック」のポジションにして下さい。

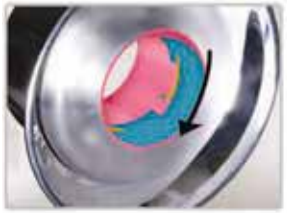
次にリングフラッシュ本体内側表面には、高さ 2mm ぐらいのガイドが 3 個あります。これらの 3 個のガイドはフロントカバーのバヨネット式取付け部に対応します。

フロントカバーのバヨネット式取付け部を ARB 800 の本体内側に差込みます。フロントカバーを、最後まで丁寧にセンターホールの中に押して下さい。この時、フロントカバーと ARB 800 が水平の状態であることに注意してください。水平でないとうまく挿入できません。

次に、フロントカバーを本体のセンターホールに対して（左図参照）左に少し回転させて下さい。
このときフロントカバー内側のバヨネット部が本体のガイドにうまくかかってることを確認してください。

バックパネル上のリフレクタロックを「LOCK」ポジションにします。
これでフロントカバーがロックされます。

フロントカバー／ディフューザはリングリフレクタと同時に使用したり、別々に使用することも有ります。



さらにフロントカバー／デフューザはフィルタホルダーとしても機能します。フィルタホルダには、ドーナッツ型をした専用フィルタ（6 枚のディフュージョン／ワームフィルタのセット、別売り）を使用します。フロントカバー／デフューザのセンターホール周りには突起があります。6 枚のディフュージョン／ワームフィルタには、前もってこのセンターホールに対応する穴があります。フロントカバー／デフューザの上にフィルタを置き、突起でフィルタを押さえます。

リフレクタの取付け

大きな外側のリングの方がリフレクタの前面で、小さな内側のリングの方が後部です。この後部内側のリングには、リングフラッシュユニットの前面本体に取付けるためのバヨネット部があります。

リフレクタを取付けるには、先ずユニットのバックコントロールパネル上のリフレクタロックを、左側の「アンロック」にして下さい。

リングフラッシュ本体の外側の周りには小さな 3 つのガイドがあります。これらの 3 つのガイドがリフレクタのバヨネット部に対応します。

リフレクタとリングフラッシュを平行にして、リフレクタをリングフラッシュにかぶせるように押し込んでください。リフレクタがこれ以上押せなくなるまで、そっと押して下さい。

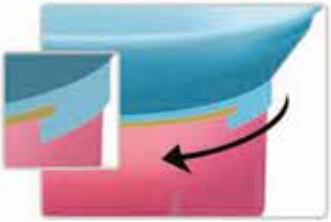
リフレクタのバヨネット部が、リングフラッシュの周りのガイドにかみ合っていることを確認してリフレクタを回転させて下さい。

バックパネル上のリフレクタロックを「LOCK」ポジションにします。
これでリフレクタがロックされます。

リングリフレクタはフロントカバー／ディフューザと同時に使用したり、別々に使用することも有ります。

UNLOOK
（左にまわす）
リフレクタやディフューザの脱着時

LOOK
（右にまわす）
リフレクタやディフューザを固定



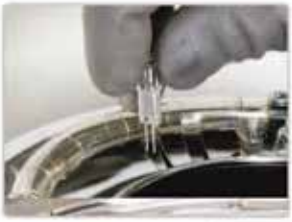
リングフラッシュはディフューザの有無に関わらず使用できます。

モデリングランプの交換

ABR800 ユニットには 8 個の 10W-24V のモデリングランプが付いています。ランプの寿命は 500 から 3000 時間で、交換モデリングランプは 8 個入で別売りもあります。ユニットには 3 個の予備のモデリングランプが付属しています。モデリングランプの交換時はユニットの電源をオフにし、AC コードも外してください。

ステップ 1: モデリングランプの取外し

手袋等を使用してモデリングランプをゆっくり上に引き上げて下さい。直接手でモデリングランプに触れないようにしてください。



ステップ 2: モデリングランプの取付け

モデリングランプは 2 - ピンのベースを持っています。ユニット本体の穴に合わせて垂直に押し下げて下さい。モデリングランプがそれ以上動かなくなったら適切に挿入されたということです。

モデリングランプがきちんと取付けてあれば、「Model ON」ボタンを押すことにより、ランプは点灯します。
モデリングランプは [ON/OFF] や [TRACK] や [CYCLE] モードにセットできます。
このモデリングランプは 500 から 3000 時間の寿命をもちます。
モデリングランプ 4 個が 1 つの回路で、合計 2 つの回路を持っています。1 個のランプが消えるとその回路の他の 3 個も消灯します。これは残りの 3 個も駄目になったという訳ではありません、駄目になった 1 個の電球を交換すれば、他の 3 個の機能は回復します。
万が一に備えて ABR800 には 3 個のモデリングランプを予備につけてあります。ユニットのランプのどれかが早く駄目になったら、そのランプを予備の 1 個と取り替えてください。

回路 1 ： 4 個のバルブで 1 回路

回路 2 ： 4 個のバルブで 1 回路

フラッシュチューブの交換

ABR800 ユニットには半円型のフラッシュチューブが 2 個ついています。フラッシュチューブの寿命は、25 万回から 100 万回の発光が可能です。半円型フラッシュチューブは、 1 個単位で販売していますが交換の際は、 2 個同時に交換することをお薦めいたします。チューブの交換時はユニットの電源をオフにし AC コードも外してください。

ステップ 1：フラッシュチューブの取外し

手袋等を使用してフラッシュチューブの足の片方ををゆっくり上に引き上げて下さい。この時、直接手でフラッシュチューブに触れないようにしてください。次に反対側の足も外します。最後にチューブの真ん中にあるトリガーピンも同様に真上に引き上げ外します。この時本体にプラスチックの絶縁スリーブが残っていたらこれも取外します。

ステップ 2：スリーブの取付け

フラッシュチューブに付属している絶縁スリーブを、長さ 13mm に切って、これを 2 本作ってください。新しいフラッシュチューブの脚部に 13mm の絶縁スリーブを右の写真のように取付けます。同様に長さ 25mm のものを 1 個作ります。これはチューブの中心のトリガーの脚に取付けます。

ステップ 3：フラッシュチューブの取付け

ステップ 2 でスリーブを取付けたフラッシュチューブをリングフラッシュに真上から優しく押し込みます。最初にチューブの真ん中のトリガーから始めます。次に、左右の脚をはめ込みます。

注意：

必ず電源を OFF にして、AC コードを本体から外してから交換を行ってください。

フラッシュチューブや本体金属部分に直接触れないようお気をつけ下さい。

ユニットの中のコンデンサのエネルギーを空にするために、電源を切ってから最低 5 分以上たってから作業を行ってください。

T.P.C.
ティ　ピー　シー

保証書

●製品名：リングフラッシュ
ABR800

●お客様名

●ご購入年月日

●販売店名

株式会社ティ・ピー・シー

本社／〒 530 － 0001 大阪市北区梅田 1-11-4 大阪駅前第 4 ビル B1-30 Tel.06-6341-6052

http://www.kktpc.co.jp